

2018年度 超モノづくり部品大賞 奨励賞受賞

JTEKT Receives the Encouragement Award at "The Super Monozukuri Parts Grand Award 2018"

当社の「JTEKT-SignalHop[®]」が、モノづくり日本会議／日刊工業新聞社主催の「2018年超モノづくり部品大賞 奨励賞」を受賞した。

本賞はモノづくりの競争力の源泉で、縁の下の力持ちである部品・部材にスポットをあて、日本の産業・社会を支える重要な役割を果たしている部品に贈られるものである。

当社は、モノだけでなく、人やサービスもつなげるという意味でIoT (Internet of Things) ではなく、IoE (Internet of Everything) を提唱している。「JTEKT-SignalHop[®]」は既存設備の改造を行わなくても、アドオンで設備の稼働状況の見える化ができるため、IoE をスタートする導入機器として最適なソリューションとなる。

今回、設備の稼働状態ランプのメーカー型式を問わず、既存設備との「つながる」を簡単に実現した技術の「獨創性」と、配線工事や回路変更が不要で低コストでの導入を可能とした「経済性」の2点が、今後のIoE化促進という観点から高く評価され受賞に至った。

当社は、今後もお客様に新たな価値を創出するソリューションを提案していく。



左から、故・青能敏雄技監、村山左近主任



記念品



JTEKT-SignalHop[®]
送信機 (左) と受信機 (右)



送信機取付図 (赤・黄・緑が状態ランプ)